

『みやぎ街道交流会』平成25年度定期総会 記念講演会

川のみちの歴史を探る —北上川下流域を中心に—

講 師：齊藤 善之先生

東北学院大学経営学部教授・みやぎ街道交流会顧問

い つ：平成25年6月8日（土）15：00～16：15

どこで：みやぎNPOプラザ 第1会議室

（仙台市宮城野区榴ヶ岡5 Tel 022-256-0505）

江戸時代から戦後まで、水上の道を大勢の人々とたくさんの物資が行き交っていた。大量輸送手段として効率がよい船は、この時代、陸の道以上に人々の生活をささえる交通運輸手段としてきわめて大きな役割を果たしたのである。しかし近代になり鉄道網の整備が進むと、水上交通路としての川のみちは急速にすたれ、今日その実態を復元することは、陸の道以上に難しい。

今回は、宮城県域に存在した水上の道としては最大のものであった北上川の下流域におけるさまざまな痕跡をたどりつつ、忘れられた川のみちの歴史を甦らせて頂きます。



【齊藤先生のプロフィール】

1958年生。早稲田大学大学院文学研究科日本史専攻単位取得。早稲田大学文学部助手、日本福祉大学知多半島総合研究所嘱託研究員を経て現職。

専門は日本近世史、海運港湾史。

主な著書に『海の道、川の道』（山川出版社、2003）、『日本の時代史17 近代の胎動』（吉川弘文館、2003、共著）、『新しい近世史3 市場と民間社会』（新人物往来社、1996、編著）、『内海船と幕藩制市場の解体』（柏書房、1994）他